


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立農業高等学校 全日制課程		進路	実績	四年制大学	16%	短期大学	1%	専門学校	42%	就職	32%	その他	9%
		「自分の未来は自分でつくる」 生徒一人一人の進路希望を実現できる専門高校		特徴	各科の専門教育と密接な関連のある分野への進学、就職が大きな特徴										
基	在 地	〒183-0056 府中市寿町一丁目10番地2		電話番号	042-362-2211										
		アクセス	(1) 京王線 府中駅下車 徒歩5分 (2) 武蔵野線 北府中駅下車 徒歩12分 (3) 南武線 府中本町駅下車 徒歩15分												
本	学 科	農業学科: 都市園芸科、緑地計画科、食品科学科 家庭学科: 服飾科、食物科													
		在 籍 生 徒 数	農業学科: 都市園芸科(54・55) 緑地計画科(70・36) 食品科学科(34・75) 家庭学科: 服飾科(4・100) 食物科(26・80) 総計534 (188・346) ()は男女												
情	報	教育課程の特徴	実験実習を多く取り入れた授業。充実した少人数指導。フラワーデザイン、造園、茶道、調理、製菓、服飾デザインなど市民講師による充実した授業。												
		ホームページ	http://www.nogyo-h.metro.tokyo.jp		自律経営推進予算 31年度(単位:万円)	4,111									
報	情	その他	食物科で卒業と同時に調理師免許が取得可能。	校 服	制服	男子: プレザー(グレー) 女子: プレザー(グレー)									
		募集人員	推薦: 各科10名 計50名 一般: 各科25名 計125名 合計175名 (推薦、一般とも男女枠なし)												
報	情	29年度入学生	推薦	都市園芸	2.4	30年度入学生	推薦	都市園芸	2.6	31年度入学生	推薦	都市園芸	2.8		
		学力検査	食品科学	2.1	食品科学		2.1	食品科学	3.0						
報	情	その他	農業科と家庭科は別々の募集。推薦は第二希望、学力検査は第三希望までの選択できる。農業科と家庭科をまたいでの第二希望の選択はできない。												
		主な学校行事	修学旅行・体育祭・文化祭(農高祭)・予餞会・各専門学科の校外学習・遠足												

目指す学校 **スペシャリストとして必要な専門性の基礎基本を学び、確かな学力を身に付け、豊かな感性を育み、社会に貢献できる専門高校**

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目 標	広報・募集活動の推進・充実	【取組】ア ホームページ更新回数の改善及び広報誌「ケヤキ並木」をホームページに掲載し、最新情報を配信。イ 夏季休業中に授業公開や学校見学会を実施。ウ 専門教科の授業内容を理解のために中学生対象の体験入学を2回実施。エ 服飾科・食物科における中学校家庭科教員対象の研修会を実施。オ 保育所及び高齢者施設での植栽、保育所の園児との交流、神代農場における保護司会との連携事業を実施。	
①	ア ホームページの充実を図る。 イ 夏季休業中に授業公開、学校見学会を実施する。 ウ 学校通信「ケヤキ並木」を発行する。 エ 中学校教員対象の技術研修会を実施する。	【自己評価】夏季休業中の授業公開、学校見学会に中学生・保護者1285名(120名増)、10月・12月の学校説明会に494名(66名増)、9月・11月の体験入学に254名(48名減)の中学生が参加するなど、募集活動の充実を図った。	
目 標	進路希望の実現	【取組】ア 面接週間(6月・9月)における組織的な指導を実施。イ 学校通信「ケヤキ並木」に「進路情報」を掲載。ウ 進路通信「進路Go!」を定期的に発行。エ 「進路の手引き」を作成。オ 就職ガイダンス・労働法規講座・先輩懇談会・教員向け専門学校勉強会などを実施。	
②	ア 作文・面接試験に向けて組織的に指導する。 イ 進路ガイダンス等を通して早期の意識付けを図る。 ウ 「明るい笑顔、聞こえる挨拶、聞こえる返事」の指導を徹底する。 エ 教員による企業訪問、企業研究の充実を図る。	【自己評価】ア 進学先の主な大学は、山形大学、東京農業大学、酪農学園大学、杉野服飾大学、東京家政学院大学などである。イ 専門学校への進学については専門性をさらに高めようとする傾向にある。ウ 公務員試験に2名が合格した。エ 緑地計画科、食品科学科、食物科では専門性を活かすことのできる就職が多い。	
目 標	基礎学力の確実な定着と専門的な知識・技術の確実な習得	【取組】ア 「学力スタンダード」に基づく基礎学力向上の取組を実践。イ 「技能スタンダード」に基づく資格・検定取得に向けた指導の充実。ウ 言語能力向上の取組として課題研究発表会、農業クラブ意見発表会等を実施。エ JETを活用した継続的・計画的な授業を実践。	
③	ア 基礎学力ドリル等を活用し基礎学力の向上を図る。 イ 長期休業中の組織的・計画的な補習・補講を実施する。 ウ 各学科に関する資格取得を推進する。 エ GAPやHACCPなど新たな学習活動を推進する。	【自己評価】ア 授業(座学)への取組は87%、授業(実習)への取組は93%の生徒が真剣に取り組んでいると回答した。イ 日本農業技術検定3級に72名、各種コンテストに多数の生徒が入賞するなど技術が向上している。ウ 農業科におけるGAP教育を推進するなど、農業教育の充実を図った。	

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	全学科の入選応募倍率(推薦、一次)の向上	3.5,1.3	3.1,1.4	3.5,1.3	3.6,1.2	3.5,1.3	3.1,1.5	3.5,1.3	2.6,1.3	3.5,1.3	3.5,1.3	3.5,1.3
目標②	進路希望の実現	95%	89%	95%	95%	95%	94%	95%	91%	95%	95%	95%
目標③	学校満足度(生徒)の向上	95%	94%	95%	95%	95%	90%	95%	90%	95%	95%	95%

創立110周年

農業高等学校で夢の実現



夢

を創造する

There is nothing like a dream to create the future.

